

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																							
宮崎医療管理専門学校		昭和58年3月15日	川野 竜太郎		〒889-1701 宮崎県宮崎市田野町甲1556-1 (電話) 0985-86-2271																							
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																							
学校法人東洋学園		昭和58年3月15日	蓮江 正道		〒151-0071 東京都渋谷区本町6丁目21番地7号 (電話) 03-3376-8511																							
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																						
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	介護福祉科			平成7年1月23日	無																						
学科の目的	「介護福祉士」の養成校として厚生労働大臣の指定を受け、実習やボランティア活動などを通じて人間性・倫理観を高め、時代にニーズに即した専門的知識や技術の習得はもちろんのこと、感性豊かな学生の育成を通じ、社会に貢献できる専門職となることを目的とする。																											
認定年月日	平成29年2月28日																											
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技																				
	2 年 昼間		1965	855		570	540	0	0																			
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)		専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人		16人	0人		3人	6人	9人																					
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 (1)試験のうえ合格者に単位を与える。 (2)所定授業数1/3以上欠席した場合、受験資格はない。 (3)60点以上で合格とする。																						
長期休み	■春季:3月21日～4月10日 ■夏季:7月21日～8月31日 ■冬季:12月26日～1月9日				卒業・進級条件	(1)本校所定の教育課程を履修し、必要単位を全て修得していること。 (2)学校後納金を完納していること。 (3)性行上問題がないこと。																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任との個別面談、学科内教員との横断的な関わり、保護者との連携、クラスメイトの協力 等				課外活動	■課外活動の種類 介護施設、福祉団体、地域団体、行政等主催のボランティア参加 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害者支援施設、有料老人ホーム等				主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業者に関する令和元年5月1日時点の情報)																						
	■就職指導内容 求人票の周知とともに担任との個別面談を実施。横断的な教員との関わりによる事業所の情報開示。事業所への見学依頼など。					<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護福祉士</td> <td>②</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>レクリエーション・インストラクター</td> <td>①</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>初級障がい者スポーツ指導員</td> <td>①</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	介護福祉士	②	15	14	レクリエーション・インストラクター	①	15	15	初級障がい者スポーツ指導員	①	15	15				
	資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
	介護福祉士	②	15	14																								
	レクリエーション・インストラクター	①	15	15																								
	初級障がい者スポーツ指導員	①	15	15																								
■卒業者数 : 15 人																												
■就職希望者数 : 15 人																												
■就職者数 : 14 人																												
■就職率 : 93 %																												
■卒業者に占める就職者の割合 : 93 %																												
■その他																												
(平成30年度卒業者に関する平成31年4月24日時点の情報)																												
中途退学の現状	■中途退学者 平成30年4月1日時点において 2名 平成31年3月31日時点において 25名 ■中途退学の主な理由 進路変更・体調不良		■中退率 8% (平成30年4月1日入学者を含む) (平成31年3月31日卒業者を含む)																									
	■中退防止・中退者支援のための取組 補講、教員との対話、個別指導、保護者との連携、生活指導 等																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度 : 有 (特待生制度、家族入学優待制度) ■専門実践教育訓練給付 : 給付対象 (前年度実績 0)																											
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価 : 無																											
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.toyomc.ac.jp">http://www.toyomc.ac.jp</a>																											

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

1987年に「社会福祉士及び介護福祉士法」が制定され、介護福祉士が国家資格として位置づけられた。その後、介護保険法や障害者総合支援法の施行など介護福祉士を取り巻く環境は大きく変化し、2007年には介護福祉士の義務規定の見直しや教育内容及びカリキュラムの見直しがされた。また、2011年から喀痰吸引や経管栄養に対する医療行為が認められるなど、様々な対象者のニーズに応え、主体性重視の介護を提供する介護福祉士の果たす役割は益々大きくなっている。このような中、本校は、全人的・総合的なサービスを提供できる質の高い介護福祉士の育成に尽力している。介護福祉科では、医療・保健・福祉関係者を「教育課程編成委員会」の委員に選任し、医療・保健・福祉界における倫理観や、対象者のニーズの把握、個性や尊厳を重視した専門知識や技術等について、各委員からの意見や要望等を十分に反映し、関連施設等との連携を深め、授業科目や授業の内容・方法の改善及び工夫を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

別添「宮崎医療管理専門学校 教育課程編成委員会規程」のとおり、校長管轄の組織として委員会を設置し、カリキュラム等の改善に対する意見を聴取する。これをもとに、校長以下、教務部長及び各学科の担当でカリキュラム等の改善方針について検討し、次年度に向けた教育課程の改善を図る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
牧野 剛	医療法人 慶明会	2019年4月1日～2021年3月31日	③
井畑 信二	社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	2019年4月1日～2021年3月31日	①
川端 利彦	医療法人社団 善仁会 市民の森病院総合健診センター	2019年4月1日～2021年3月31日	③
坂口 和幸	社会福祉法人 芳生会 特別養護老人ホーム芳生苑	2019年4月1日～2021年3月31日	③
川添 教道	社会福祉法人 恵浄福祉会 めぐみ保育園	2019年4月1日～2021年3月31日	③
野中 恵子	医療法人社団 高信会 このはな介護老人保健施設	2019年4月1日～2021年3月31日	③
川野 竜太郎	宮崎医療管理専門学校	2019年4月1日～2021年3月31日	学校側委員
川野 哲朗	宮崎医療管理専門学校	2019年4月1日～2021年3月31日	学校側委員
福元 進	宮崎医療管理専門学校	2019年4月1日～2021年3月31日	学校側委員
新名 隆宏	宮崎医療管理専門学校	2019年4月1日～2021年3月31日	学校側委員
千代森倍世	宮崎医療管理専門学校	2019年4月1日～2021年3月31日	学校側委員
椎屋 良子	宮崎医療管理専門学校	2019年4月1日～2021年3月31日	学校側委員

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年度内に2回(9月と3月)開催

(開催日時(実績))

第1回 平成30年9月28日 15:10～16:20

第2回 平成31年3月25日 15:10～16:10

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」の意見等を次年度の授業内容や授業方法の改善に活用し、教育の質の向上につなげていく。福祉レクリエーション教育の充実や現場との連携による実践的な教育に関する委員からの意見を、今後の教育課程編成に反映していきたい。特に授業科目「介護総合演習」や「介護実習」において、実習前の事前学習や演習等を教員が、学生1人1人の知識力や理解力に応じ弾力的に組み、介護実践の現場で効果的な取り組みができることで評価につなげる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校で学び習得した介護の専門知識や技術を、関連施設等と連携を図ることにより、実際に介護施設や地域の現場で応用し、対象者との関りの中で生命・人権を尊重し、職業倫理に基づいた支援ができる能力を養う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容  
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記  
 年度初めに、本校で実習指導者会議を開催し、実習要項の説明及び各担当者からの意見等を聴取し、今後の実習展開が順調かつ適正な評価につながるよう検討する。また、各実習とも、事前に実習施設にてオリエンテーションを行い実習に備える。課題がある学生については、事前に実習指導者に情報提供し、環境を整えることで双方が実習展開が円滑にできるよう配慮する。実習期間中は、担当教員が1回～2回実習先を訪問し、実習指導者と情報交換を行い、それに基づき、学生の状況を確認し個別指導を行う。また、帰校日を設け記録の確認や指導、実習状況を確認する。実習終了後、介護記録や報告書等を提出させるとともに、事後指導及び実習報告会を実施する。実習指導者による評価と併せて学修成果を総合評価し、単位の認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
介護実習Ⅰ	利用者とのコミュニケーションを通して、利用者の理解に努め、基本的日常生活の援助方法並びに施設職員の役割について理解を深める。	①特別養護老人ホーム 芳生苑 ②特別養護老人ホーム 皇寿園 ③特別養護老人ホーム ゴールデンレイク ④介護老人保健施設 サンヒルぎよたけ ⑤障害者支援施設 翼
介護実習Ⅱ	利用者の全人間的な理解を求め、ニーズを理解した介護計画を立案する。 自立支援の視点や個別援助の必要性について理解する。	
介護実習Ⅲ	利用者の個別性や人権を尊重した生活支援技術を展開し、ニーズに応じた介護計画の実践ができる。 専門職としての倫理観を高め、介護観を深める。	
介護実習Ⅳ	それぞれの居宅介護の特性を学び、基本的介護技術や知識の習得と提供するサービスの方法や実際について学ぶ。	①皇寿園在宅ケアセンター ②凌雲堂在宅総合ケアセンター ③宮崎南ヘルパー派遣センター ④ケアトピアヘルパー派遣センター ⑤小規模多機能ホーム よかよか
介護総合演習Ⅰ	実習に臨む心構えや高い専門性や倫理性を養い、介護実習に向けての動機づけ等の準備を行う。	①特別養護老人ホーム わにつか荘

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 法人の「職員の研修に関する規程」第2条では、「研修は、職員に、現在就いている職又は将来就くことが予想される職の職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を修得させ、その他、その遂行に必要な職員の能力、資質等を向上させることを目的とする。」としている。福祉分野における専門的かつ実践的な知識・技能を有し、即戦力となる人材を育成するため、教員は常に実務に関する最新の知識を福祉施設及び業界団体から修得又は情報を収集し、スキル向上に努める。また指導力において、団体(専修学校関連団体・介護福祉士養成関連団体)主催の研修や校内研修を通して指導力向上に努める。そのため、以下のような教員研修等に計画的・組織的・積極的に参加し、個々のスキルアップに努める。

(2) 研修等の実績  
 ①専攻分野における実務に関する研修等  
 研修名「公益社団法人 日本介護福祉士養成施設教会 平成30年度全国教員研修会」  
 期間:平成30年11月28日(水)～30日(金) 対象:介護福祉士養成施設協会会員校教職員および一般  
 内容:「介護福祉士教育の本質を探る～カリキュラムの見直しを踏まえて～」をテーマに講演及び分科会等で意見交換を行う。  
 研修名「宮崎県老人福祉サービス協議会 特養県央ブロック研修会」  
 期間:平成31年1月15日(火) 対象:宮崎県老人福祉サービス協議会 県央ブロック会員および一般  
 内容:認知症でも楽しく生活できる支援の在り方  
 研修名「脳科学入門～現代に必要な脳の基礎知識～」  
 期間:平成31年2月9日(土) 対象:一般  
 内容:神経生理学と神経解剖学の例を紹介しながら脳の基礎知識を学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等  
 研修名「研究事業」  
 期間:平成30年6月22日(金) 対象:宮崎医療管理専門学校教員  
 内容:教科名「介護過程Ⅱ」 単元:介護過程の展開  
 研修名「宮崎県私学振興会 教職員研修会」  
 期間:平成30年8月3日(金) 対象:宮崎医療管理専門学校教職員  
 内容:学生の確保に繋がる学校運営の改善について  
 研修名「感情的にならない、叩かない子育て」 (連携企業等:NPO法人子ども虐待防止みやざきの会)  
 期間:平成31年3月6日(水) 対象:一般  
 内容:高祖常子さんによる講演会  
 研修名「ライフデザイン講座」 (企業連携等:宮崎県こども政策課・宮崎大学清花アテナ)

期間:平成31年3月8日(金)

対象:本校学生および教職員

内容:将来設計とそれに向けての支援

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

・宮崎県介護福祉士会 介護福祉士実習指導者講習会(H31.4.17)

・公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック教員研修会(令和元年.9.27~28)

② 指導力の修得・向上のための研修等

・「専門学校各種学校連合会研修会」及び「宮崎県私学振興会研修人権啓発研修会」(日時等未定)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

平成26年度から実施している自己点検・評価を全職員が一体となって取り組み、自ら学校運営、教育活動の改善に取り組むとともに、本校と関連の深い企業等の関係者、卒業生等から構成された「学校関係者評価委員会」を設置して評価を実施し、公表するとともに、この評価に沿った改善を図る。

また、これらの意見を反映して、企業等が求める職業に必要な実践的かつ専門的な教育を行うことを第一義とし、学生、その他関係者の意向にも十分配慮した教育活動及び学校運営を目指す。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・教育目標、人材育成像・指導方針
(2) 学校運営	運営方針・規定、事業計画、組織・意志決定、人事・処遇、効率化
(3) 教育活動	教育課程、成績評価・単位認定、授業計画、授業評価、資質向上方策、資格取得指導体制
(4) 学修成果	就職率、資格取得率、退学率、社会的評価
(5) 学生支援	進路指導体制、相談体制、経済的支援体制、保護者との連携、卒業生支援体制
(6) 教育環境	施設設備の整備、インターンシップ教育体制、防災体制
(7) 学生の受入れ募集	募集活動、情報提供、入学選考、学納金
(8) 財務	財務基盤、予算・収支計画、会計監査、情報公開
(9) 法令等の遵守	法令・設置基準等の遵守、個人情報保護、自己点検・評価の実施と改善、公開
(10) 社会貢献・地域貢献	教育資源の活用、ボランティア活動、地域活動参加
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

「教育環境:生活支援において、また、介護福祉士の専門職域としても、レクリエーションは重要なので、教育の充実を図ってほしい。」とのご意見をいただいた。授業科目「介護総合演習」を含め、介護実習を実施する中で現場との連携を密にし、効果的なレクリエーション活動が行えるよう今後も実習施設との連携を深めることを検討していく。また、「学生支援:学生の経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか」に関して、修学資金制度について、説明や周知のための丁寧な取組が必要とのご意見をいただいた。現在まで継続されている県介護福祉士修学資金貸付等事業や奨学金制度について、案内資料を高校等に配布、ガイダンス等での広報、ホームページに掲載することを継続し周知徹底を図っていききたい。特に学生募集及び財務について、本校の厳しい状況の打開策等について検討し、各委員の所属先も含め、同窓会との連携による募集活動等、協力をいただける旨のご意見もあり、さらに改善に向けた取組につなげていきたい。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
牧野 剛	医療法人 慶明会	2019年4月1日~2021年3月31日	企業等役員、元非常勤講師
井畑 信二	社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会	2019年4月1日~2021年3月31日	企業等役員
川端 利彦	医療法人社団 善仁会 市民の森病院総合健診センター	2019年4月1日~2021年3月31日	卒業生、前同窓会会長
坂口 和幸	社会福祉法人 芳生会 特別養護老人ホーム芳生苑	2019年4月1日~2021年3月31日	卒業生、現同窓会会長
川添 教道	社会福祉法人 恵浄福祉会 めぐみ保育園	2019年4月1日~2021年3月31日	企業等役員
野中 恵子	医療法人社団 高信会 このはな介護老人保健施設	2019年4月1日~2021年3月31日	元専任教員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(○ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:<http://www.toyomc.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

これまで、学校の概要、教育目的や方針、沿革、各学科の内容、学生納付金、学生支援(奨学金制度等)については、ホームページで公開してきたが、本年度は、学校自己評価・学校関係者評価及び学則関連事項、教職員・組織、財務状況等、ガイドラインに沿った内容を公表した。今後も、ホームページを充実させ、情報提供を積極的に行い、学校関係者の理解及び評価、意見の聴取を促進する。また、適切な学習機会の選択に資するとともに、社会に対する説明責任を果たしていく。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	所在地、連絡先、校長名、沿革、歴代校長、建学の精神、求める人間像、教育目標、指導方針
(2) 各学科等の教育	学科・修業年限及び取容定員、入学資格・出願基準、在籍学生数、科目編成、授業時間数、授業方法・内容、成績基準、卒業進級の要件、取得資格、取得検定、資格取得・検定合格の実績、卒業者数、卒業後の進路
(3) 教職員	職員一覧、校務分掌、各種委員会組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	実習要領、実習施設、実習計画、実習指導室
(5) 様々な教育活動・教育環境	主な年間行事、主なボランティア活動
(6) 学生の生活支援	相談室、就職支援室、休憩室
(7) 学生納付金・修学支援	納付金の額・納入時期、奨学金制度、表彰制度、減免制度、分納制度、教育ローン
(8) 学校の財務	資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	平成29年度 宮崎医療管理専門学校 自己点検・評価報告書 平成29年度 宮崎医療管理専門学校 学校関係者評価報告書
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<http://www.toyomc.ac.jp>